

第19章 今後の調査

第19章 今後の調査

	頁
19.1 気象および水文	19- 1
19.2 地形図作成	19- 1
19.3 地質調査	19- 2
19.4 環境影響調査および補償調査	19-13

List of Figures

<u>Figures</u>	<u>Description</u>
Fig. 19.3-1	Location of Geological Investigation for Feasibility Study in the Vicinity of Se Kong No. 4 Dam Site
Fig. 19.3-2	Location of Geological Investigation for Feasibility Study in the Vicinity of Xe Kaman No. 1 Dam Site
Fig. 19.3-3	Location of Geological Investigation for Feasibility Study in the Vicinity of Xe Namnoy Midstream Dam Site
Fig. 19.3-4	Location of Geological Investigation for Feasibility Study along Waterway of Xe Namnoy Midstream Project

第19章 今後の調査

19.1 気象および水文

(1) 気象観測

第5章で述べ Se Kong川流域および周辺にある気象観測所において引き続き雨量、気温、湿度、風速、風向等の気象データを観測することが必要である。特に、雨量については時間雨量の記録が重要である。

(2) 流量観測

Se Kong川流域には流量観測所が非常に少ない。現在、Sekong 町 (Se Kong川) Attapu町 (Se Kong 川および Xe Kaman 川) および B. Latsasin(Xe Namnoy川) に観測所がある。これらの観測所設備の整備を行うと共に、引き続いて観測を実施することが必要である。観測は河川水位のみならず、流速測定、河川横断測量等も定期的実施することが重要である。

19.2 地形図作成

プレ・フィージビリティー調査では3プロジェクト地点のダムサイトおよび貯水池の一部について航空写真測量によって縮尺1/10,000の地形図を作成した。今後、これらのプロジェクトのフィージビリティー調査を実施するためには、以下の地形図を作成することが必要である。

(1) ダム地点

水路、発電所地点を含むダム地点の地形図を、縮尺1/1,000 で作成することが望ましい。

(2) 貯水池地域

プレ F/Sでは貯水池全域について航空写真を撮影したが、縮尺1/10,000の地形図の図化は貯水池全域をカバーしていない。このため、F/Sステージでは残りの貯水池地域およびその他周辺地域の地形図を図化することが望ましい。

19.3 地質調査

(1) 地質調査工事

各計画のダム、水路、発電所地点および建設材料採取地点の地質状況を把握するため、F/Sステージにおいて以下の調査工事を実施することが望ましい。

a) Se Kong No.4 計画 (Fig. 19.3-1)

位置	弾性波探査	テストピット	ボーリング
ダム軸	—	—	4 × 100 = 400m
水路	—	—	3 × 30 = 90m
洪水吐	—	—	1 × 30 = 30m
原石山	—	—	1 × 50 = 50m 1 × 100 = 100m
骨材採取場	1.5km	5 × 5 = 25m	5 × 10 = 50m
土質材料採取場	1.5km	5 × 10 = 50m	5 × 10 = 50m
計	3.0km	75m	20 holes 770m

b) Xe Kaman No.1 計画 (Fig. 19.3-2)

位置	弾性波探査	テストピット	ボーリング
ダム軸	—	—	3 × 100 = 300m
水路	—	—	2 × 30 = 60m 1 × 50 = 50m
ダム右岸上流	—	—	1 × 50 = 50m
原石山	—	—	1 × 100 = 100m
骨材採取場	2.0km	5 × 5 = 25m	5 × 10 = 50m
計	2.0km	25m	13 holes 610m

c) Xe Namnoy 計画 (Fig. 19.3-3~19.3-4)

c-1) 中流計画

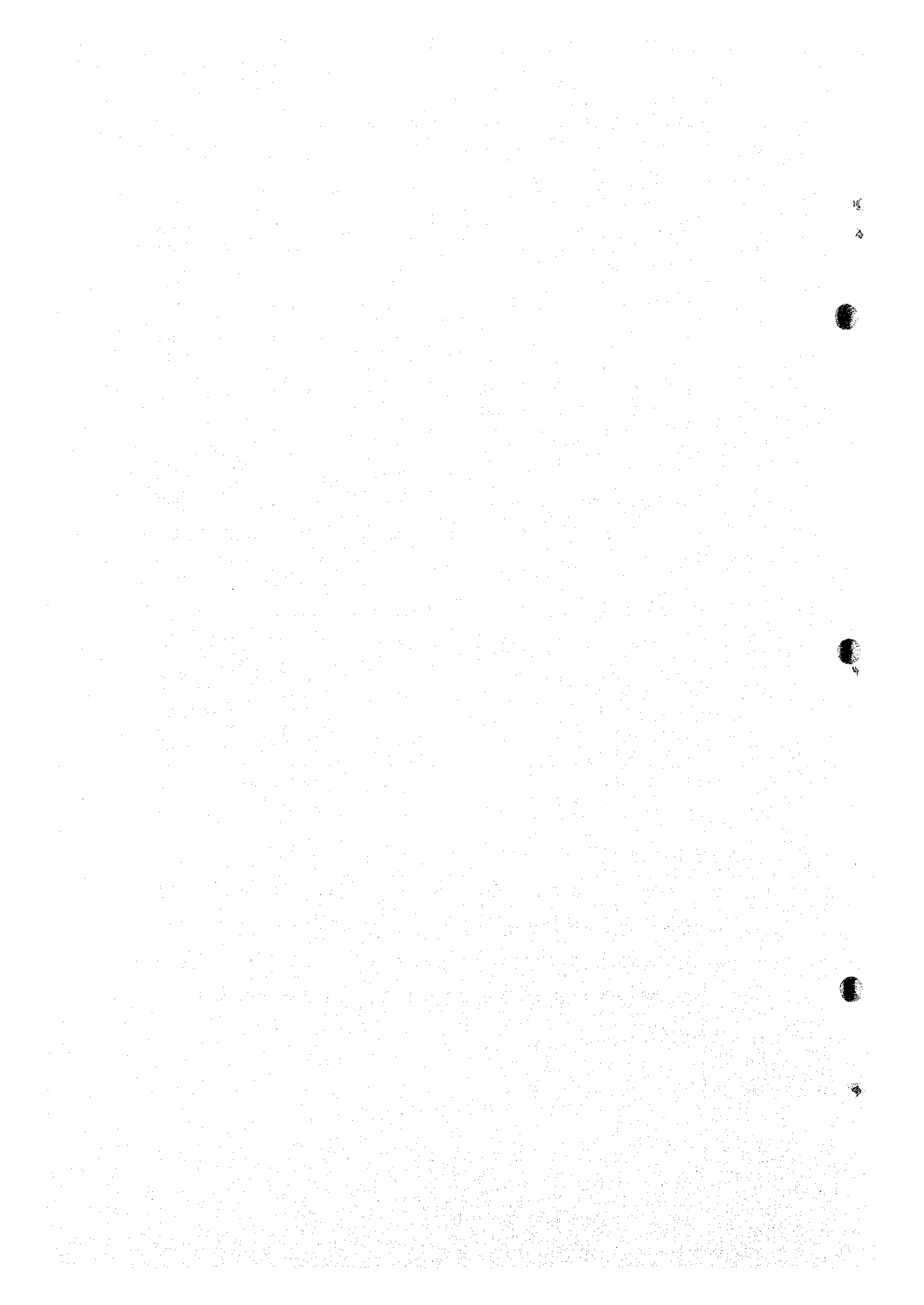
位置	弾性波探査	テストピット	ボーリング
ダム軸	—	—	3 × 30 = 90m 2 × 50 = 100m 1 × 60 = 60m
Xe Pian 取水ダム	—	—	4 × 10 = 40m
水路	—	—	1 × 50 = 50m 2 × 150 = 300m
水圧管路 発電所	1.5km	—	1 × 50 = 50m
			1 × 30 = 30m
原石山	—	—	1 × 50 = 50m
土質材料採取場	1.0km	5 × 10 = 50m	3 × 10 = 30m
計	2.5km	50m	19 holes 800m

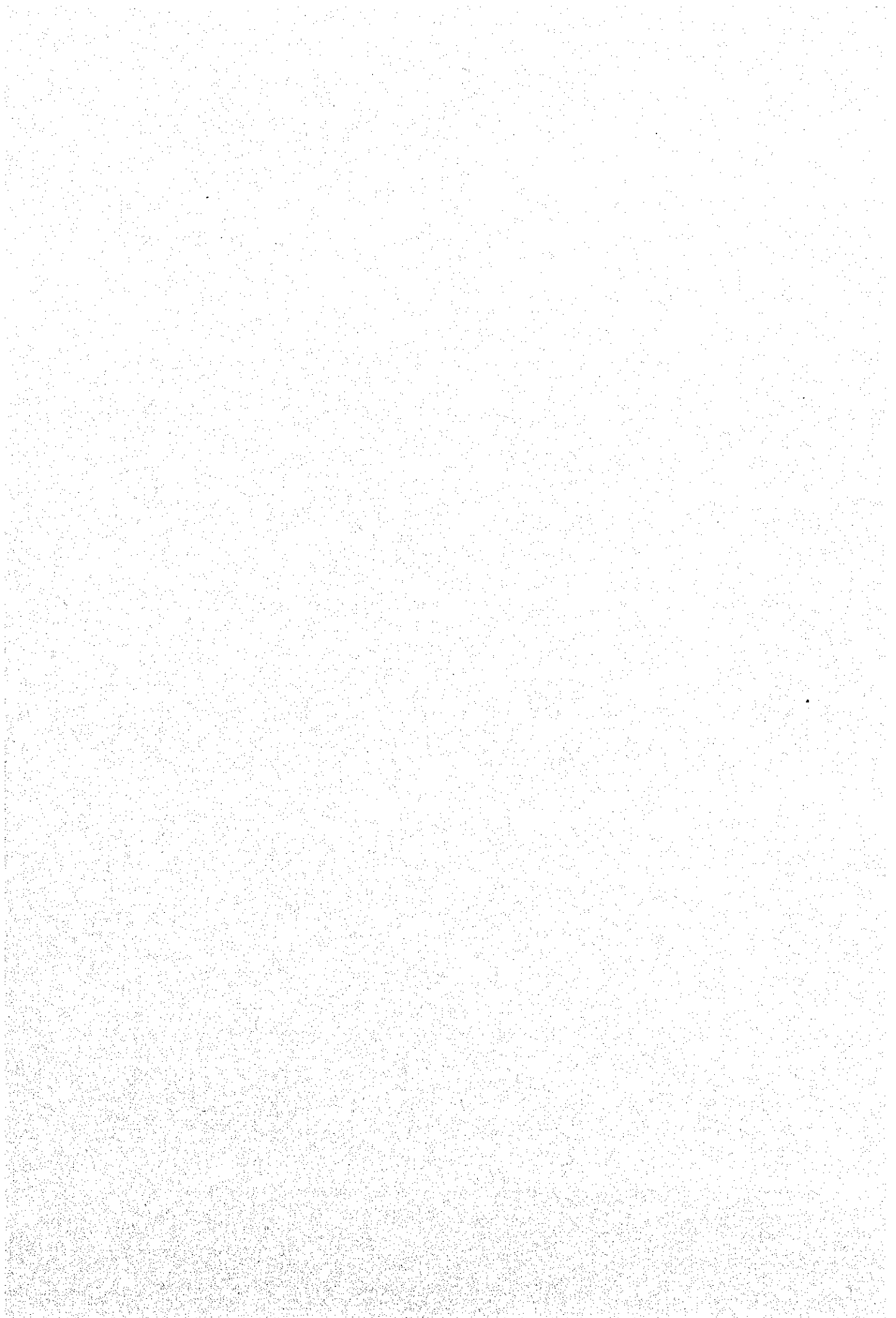
c-2) 下流計画

位置	弾性波探査	テストピット	ボーリング
ダム軸	—	—	3 × 30 = 90m
水路、発電所	—	—	1 × 80 = 80m 1 × 50 = 50m 1 × 20 = 20m
計	0	0	6 holes 240m

(2) 地質図作成

F/Sステージでは各プロジェクトのダム、水路、発電所、原石および貯水池地域の地質踏査を実施し地質状況を確認すると共に、弾性波探査およびコアボーリング調査の結果を参照して地質図を作成することが望ましい。特に、Xe Namnoy 中流計画のダム、貯水池地域では玄武岩溶岩の分布を詳細に調査し、貯水池の耐水性を検討することが必要である。





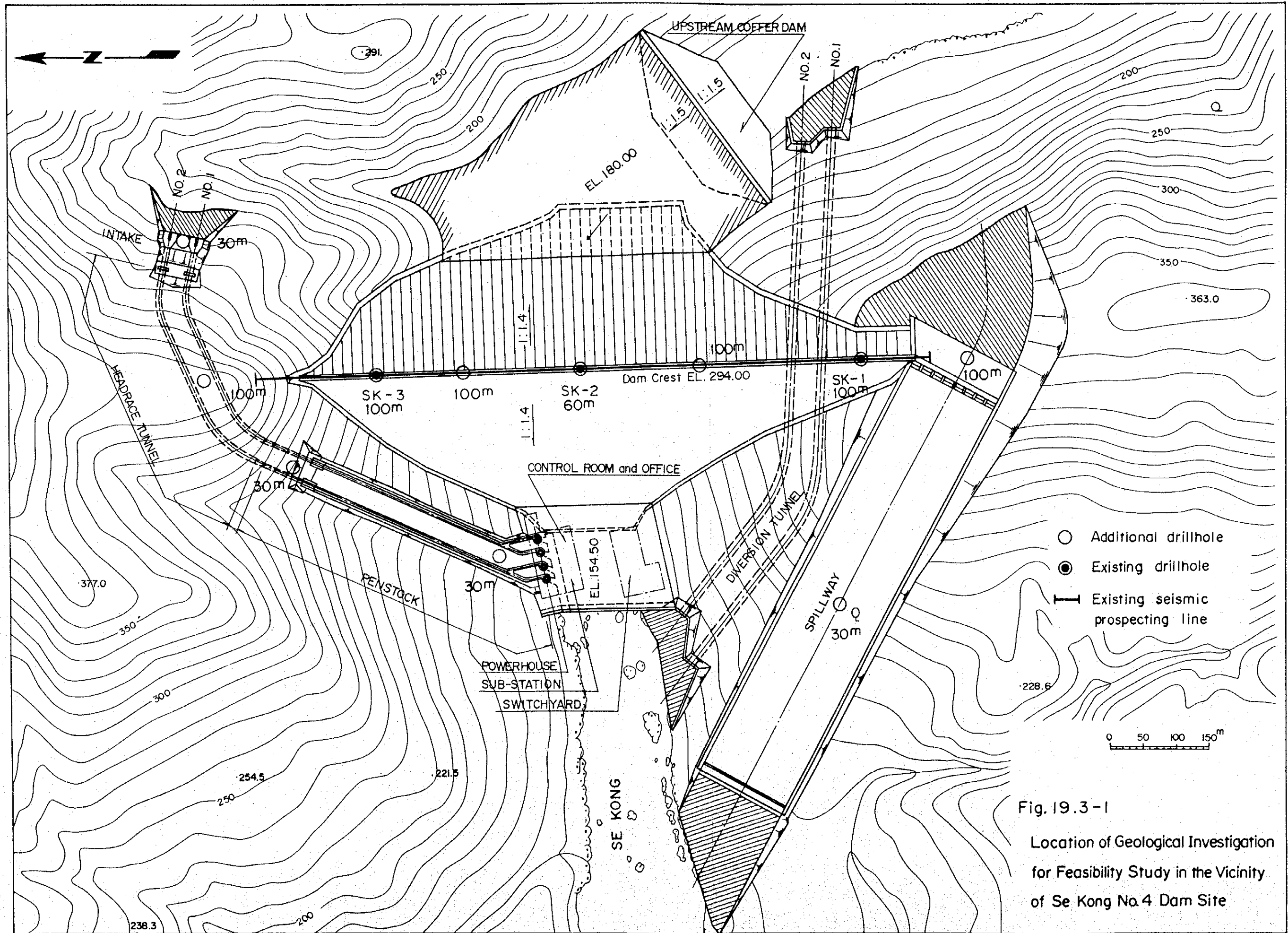
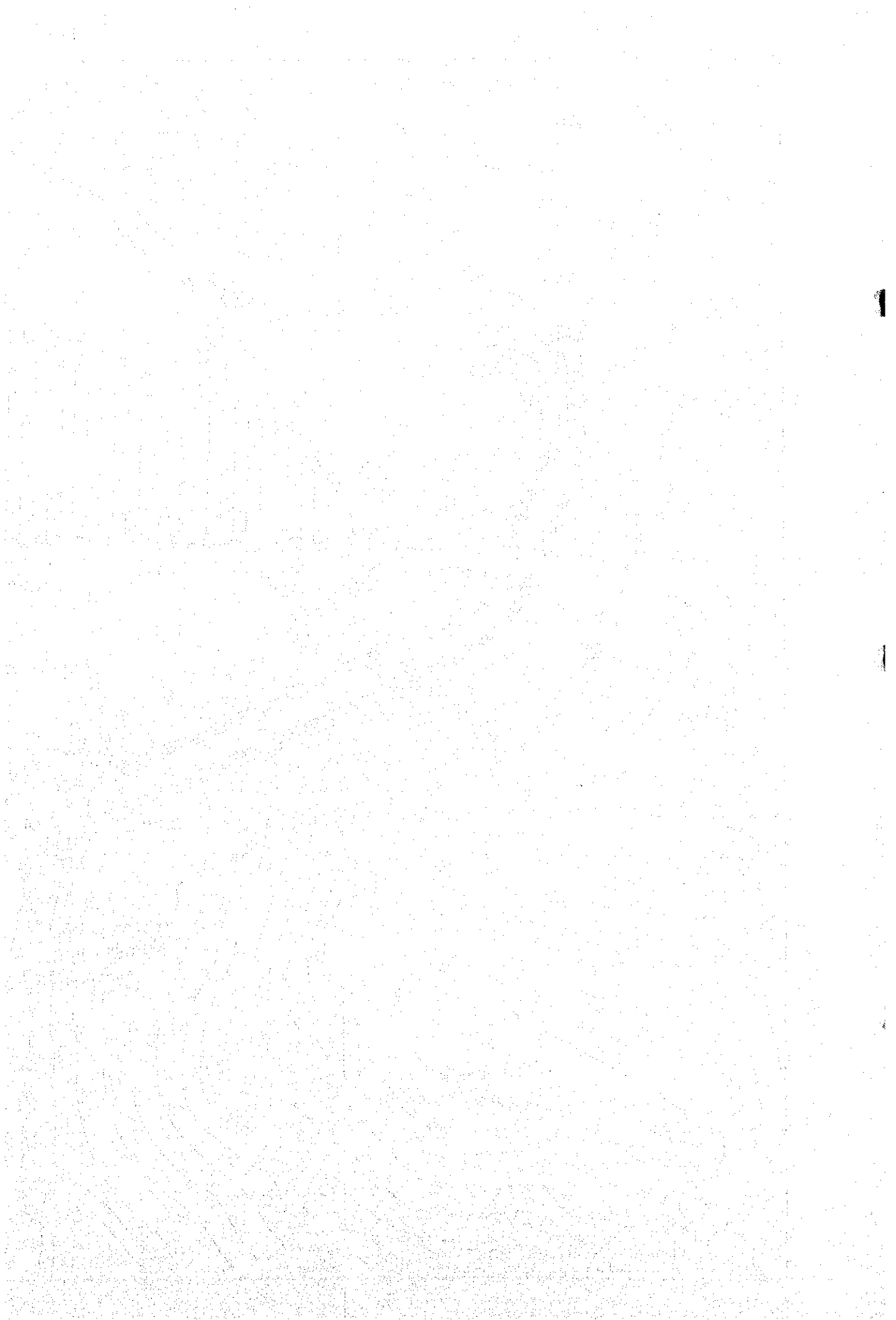


Fig. 19.3-1
 Location of Geological Investigation
 for Feasibility Study in the Vicinity
 of Se Kong No. 4 Dam Site





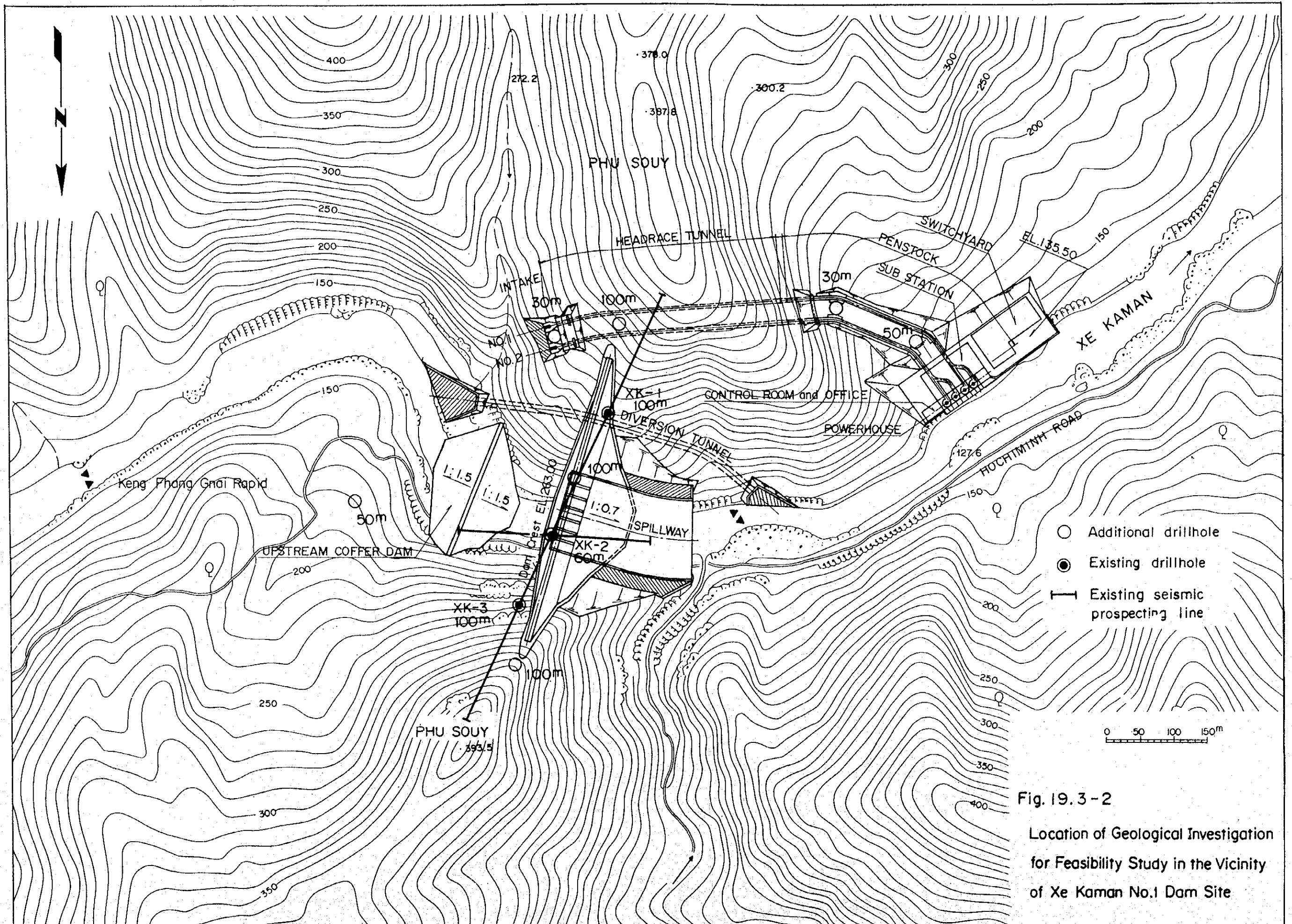
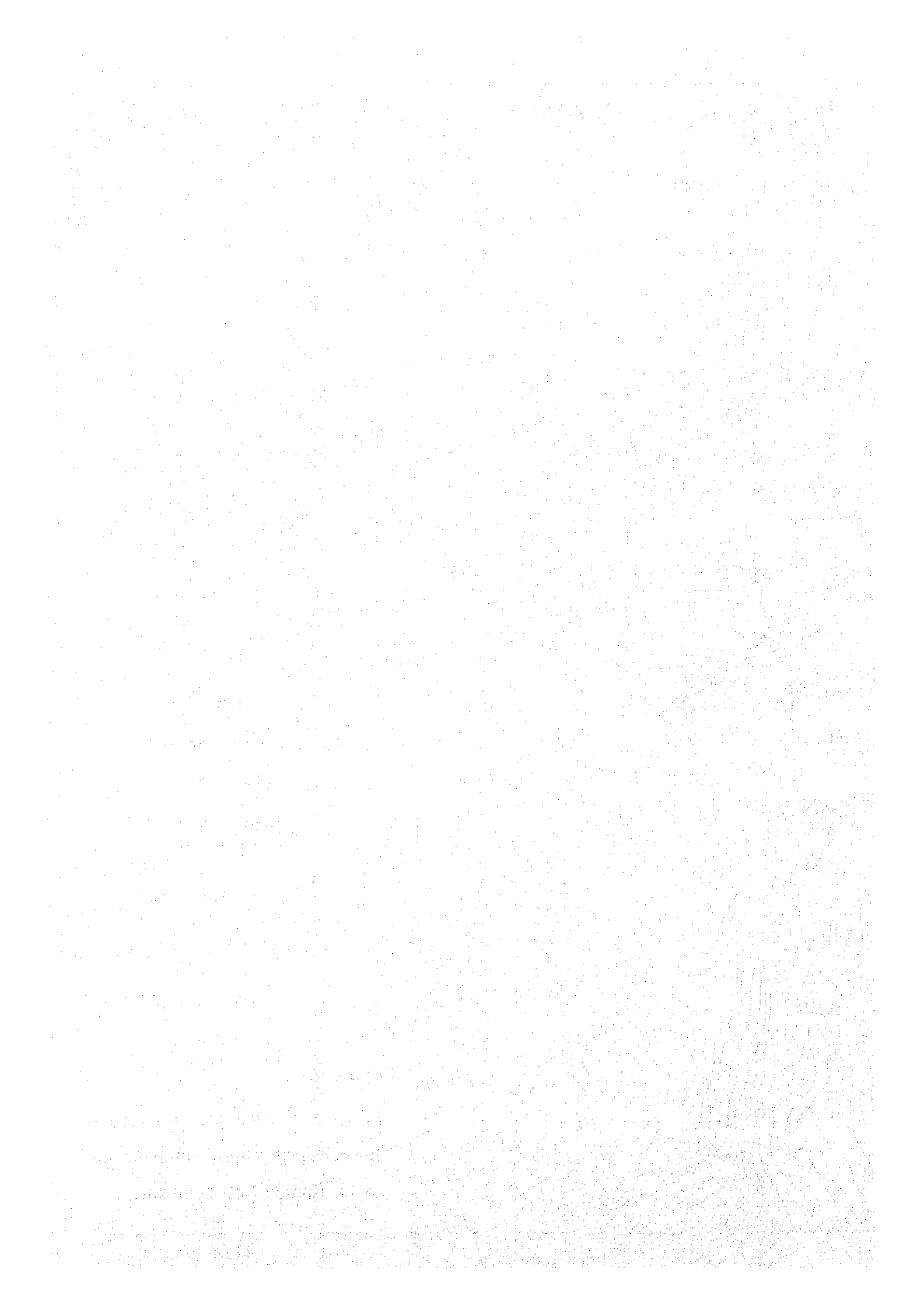
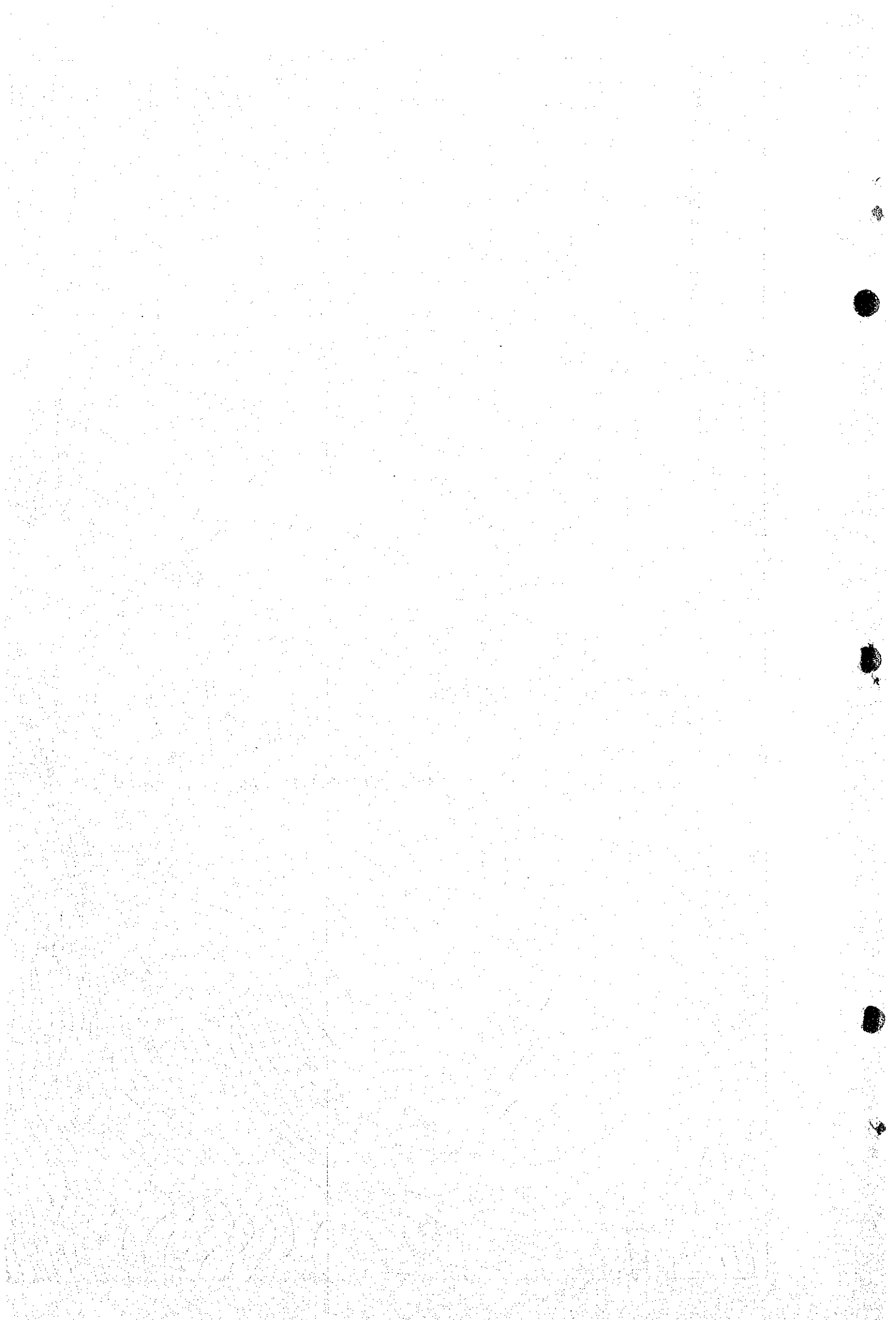


Fig. 19.3-2
 Location of Geological Investigation
 for Feasibility Study in the Vicinity
 of Xe Kaman No.1 Dam Site





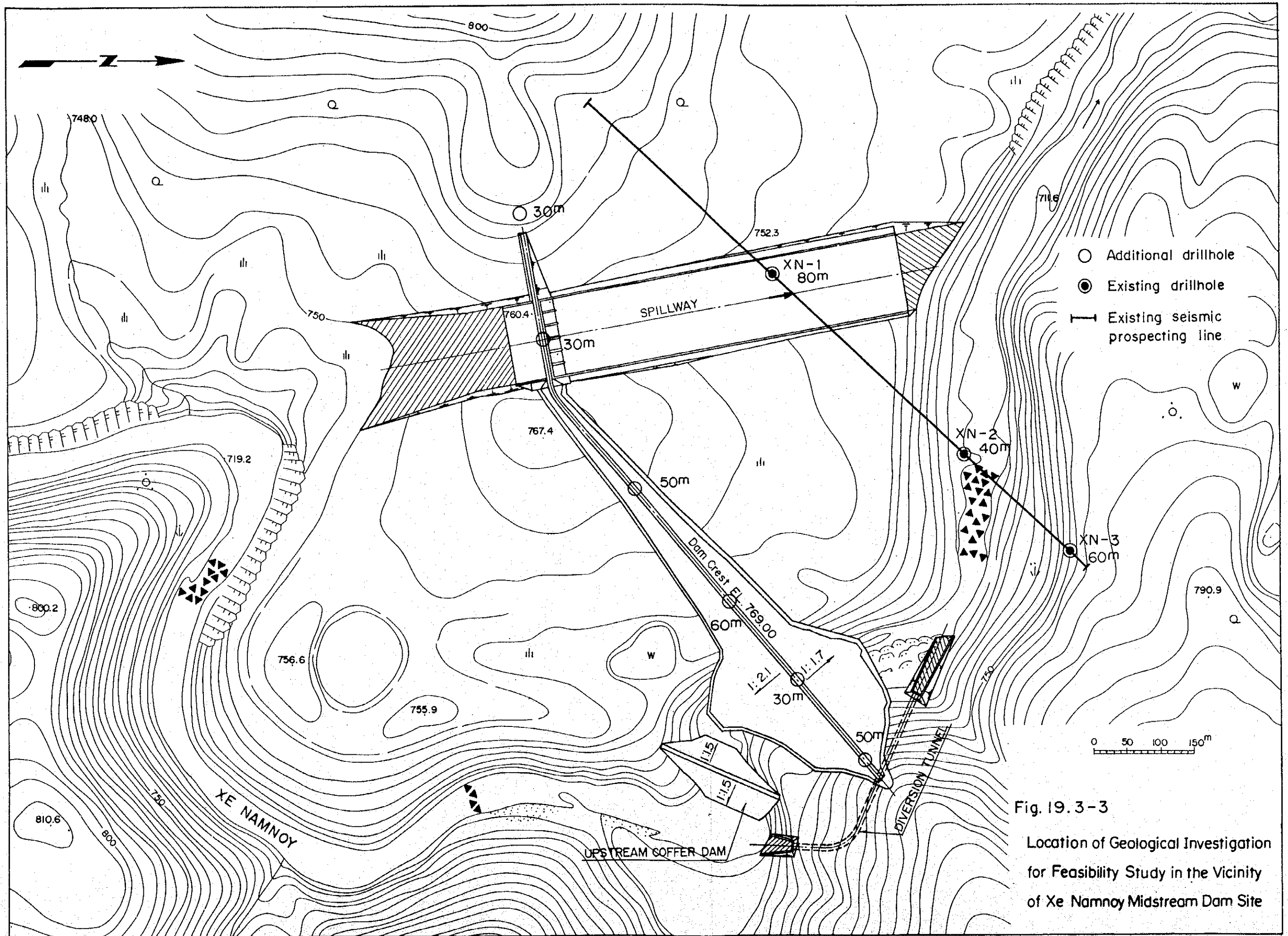
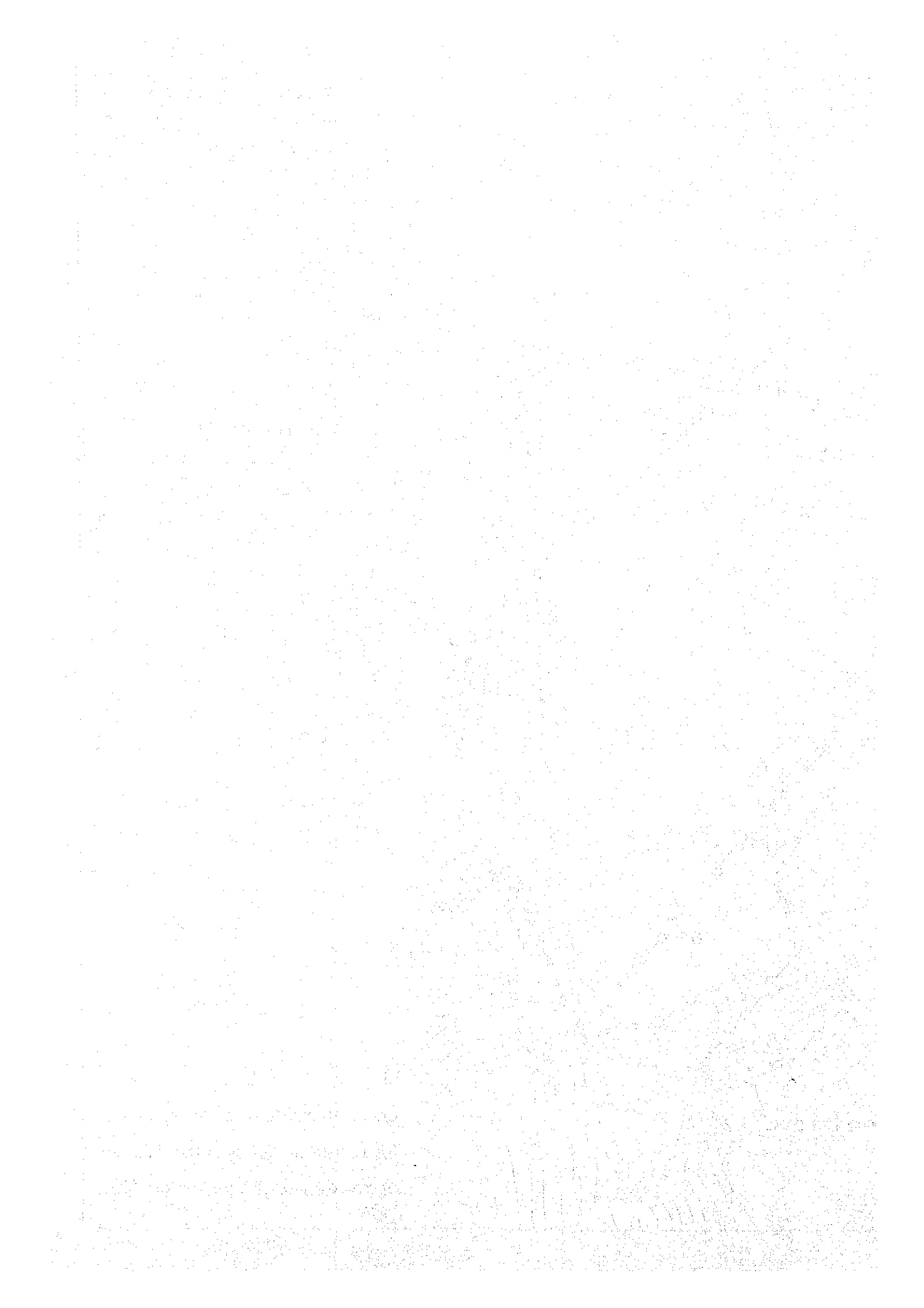
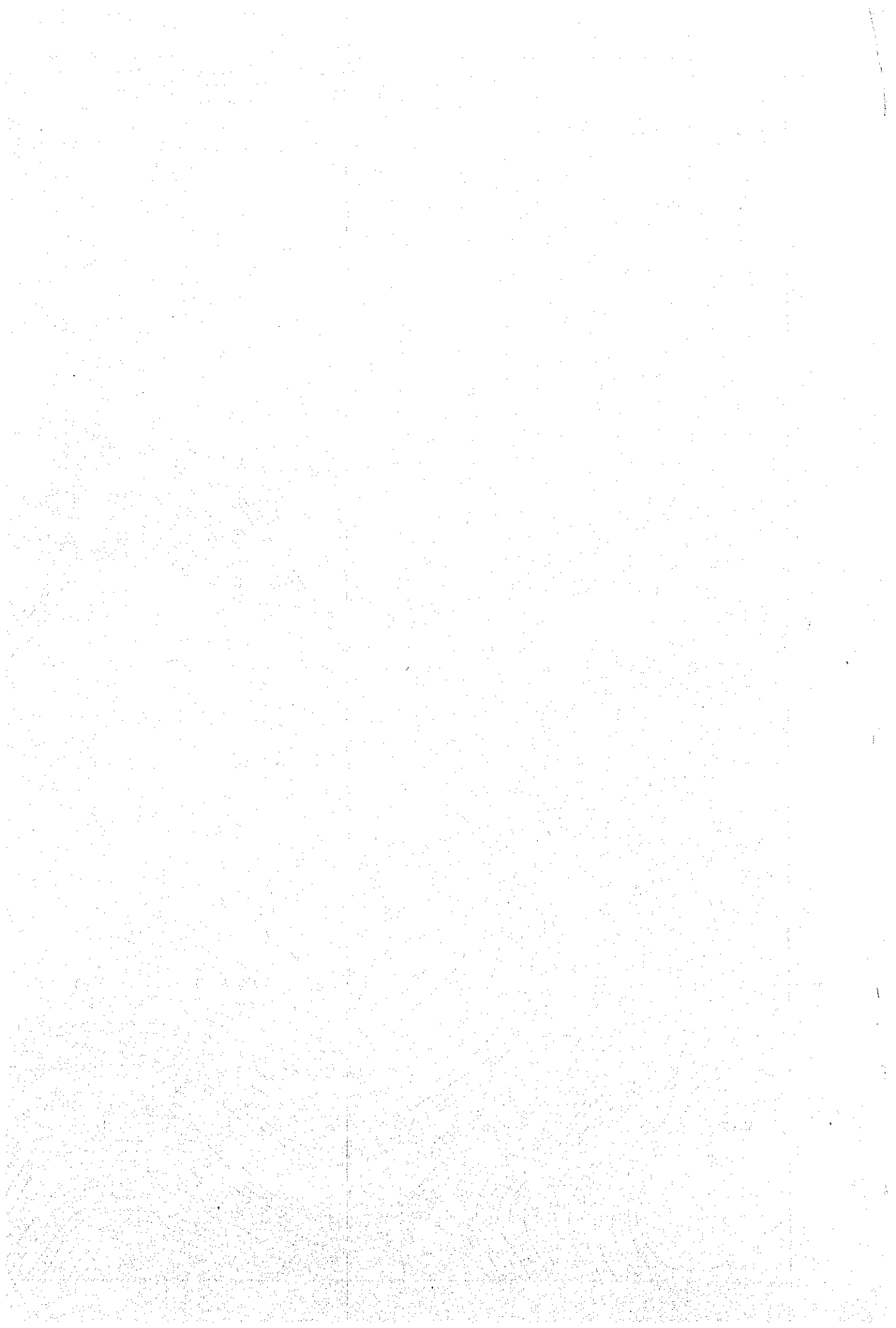
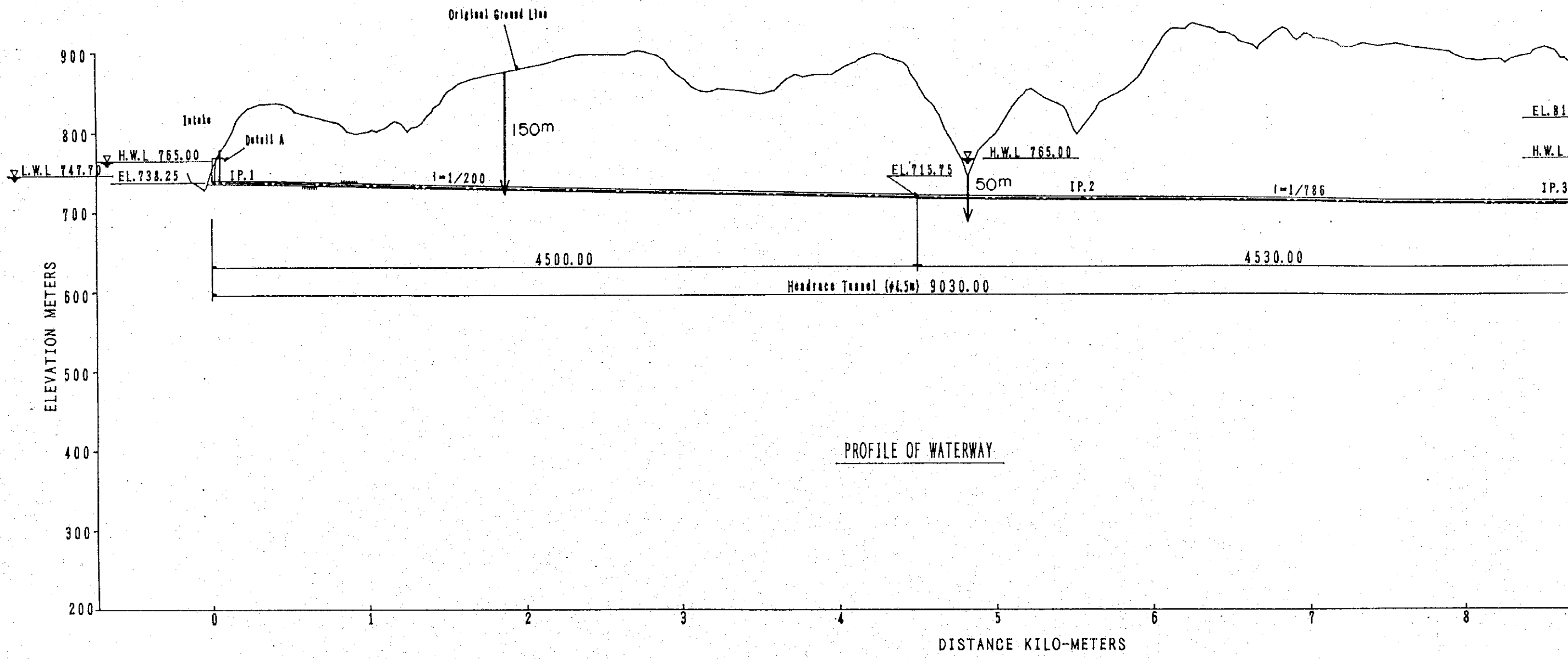


Fig. 19.3-3
 Location of Geological Investigation
 for Feasibility Study in the Vicinity
 of Xe Namnoy Midstream Dam Site







↓ Additional drillhole

11/11

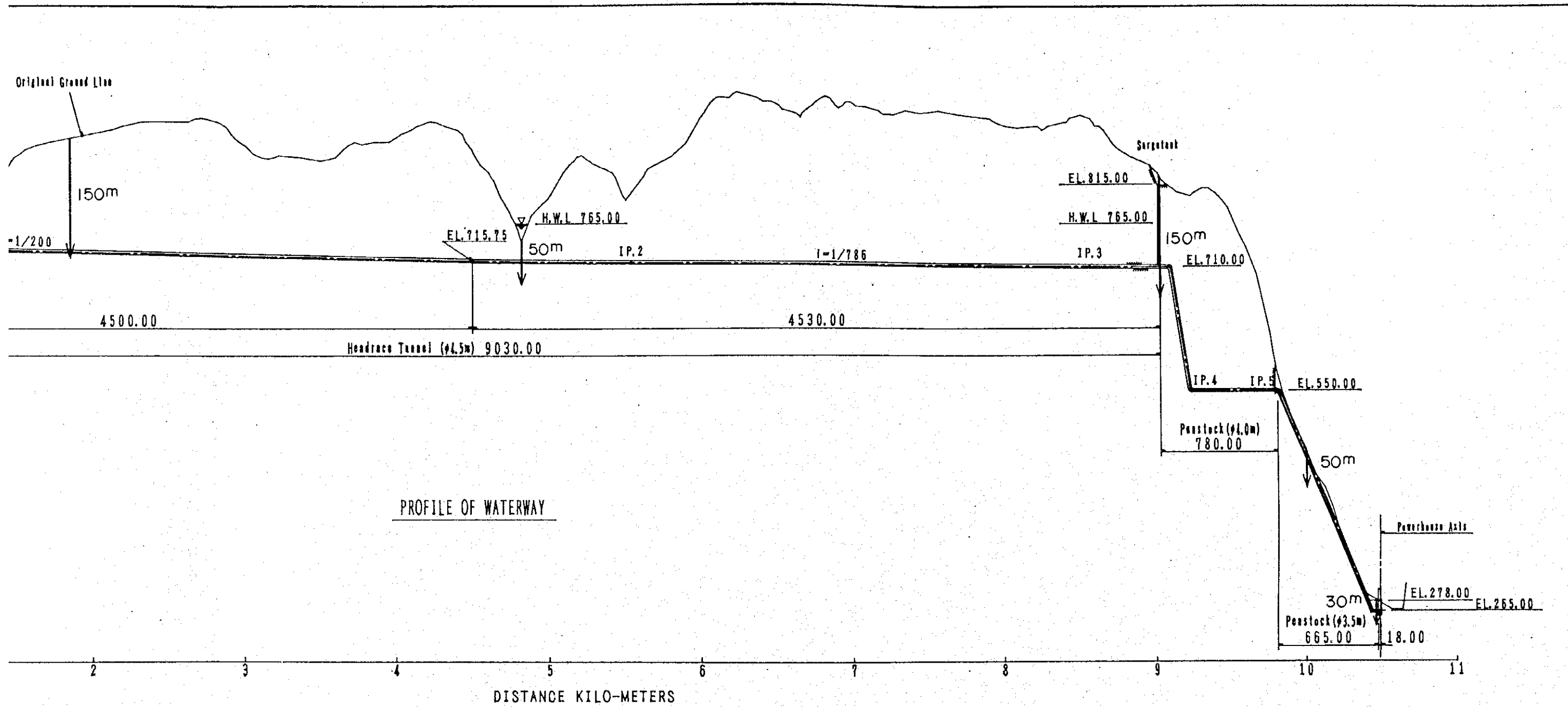
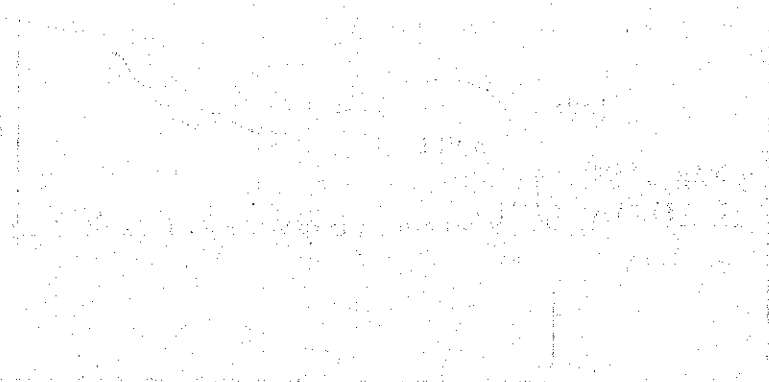


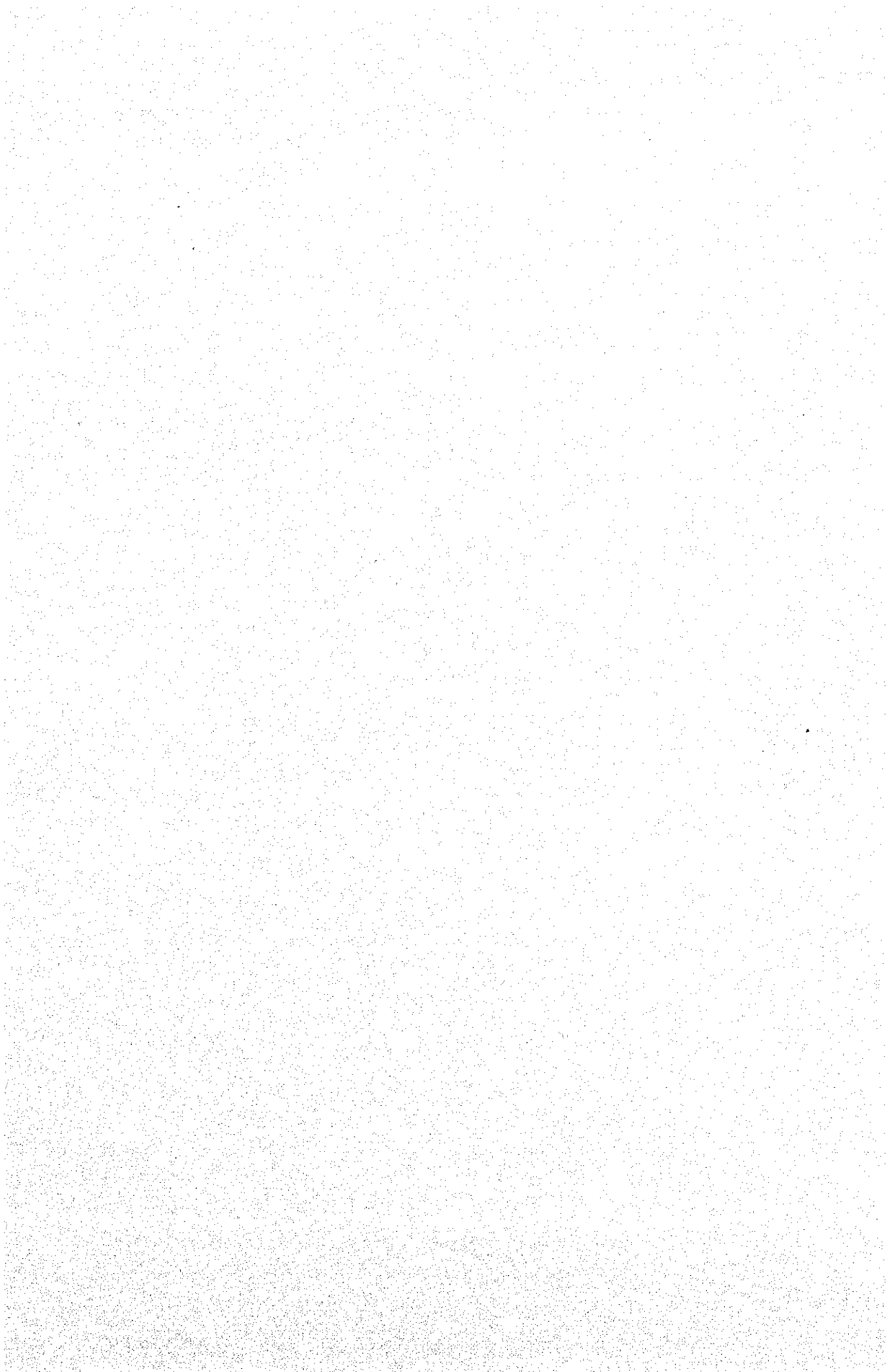
Fig. 19.3 - 4
 Location of Geological Investigation
 for Feasibility Study along
 Waterway of Xe Namnoy Midstream
 Project

100-10000



19.4 環境調査および補償調査

プレ・フィージビリティ調査では各プロジェクトについて環境および補償についての予備調査を実施したが、F/Sステージではさらに詳細な社会環境、自然環境の影響調査並びに補償調査を実施することが必要である。



JICA